

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2023~2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤幸彦
幹事 村上堅二



第1769回例会

令和5年8月3日(12:30~13:30)

○ソング

- 君が代

○ビジター

会長 平山順一様、幹事・会長ノミニー 吉澤彰浩様、パストガバナー 齋藤榮助様、直前会長 宮嶋敏郎様、パスト会長・渉外友好委員長 赤間俊明様、パスト会長・財団米山副委員長 古畑角次様、パスト会長・青少年奉仕委員 佐藤清一様、直前幹事・渉外友好副委員長 石井宏幸様、クラブ広報情報委員長 遠藤啓子様、クラブ広報情報副委員長 木村芳浩様、会員増強委員長 船山隆様、会員増強副委員長・副幹事長 遠藤優子様、親睦委員長 安部徳朗様、プログラム副委員長 佐藤順仁様

○スマイルBOX

- 米沢中央ロータリークラブ(白河西RC佐藤幸彦会長年度を祝して。今年もすばらしい交流をしていきたいと思えます。一年間よろしくお願いたします。)
- 佐藤幸彦会長(米沢中央ロータリークラブ、平山会長をはじめ、14名の皆様ようこそ白河へ。明日、米沢へお邪魔します。よろしくお願いたします。)
- 村上堅二幹事(平山会長、そして14名の来白、誠にありがとうございました。又、明日はよろしくお願いたします。)
- 金田昇会員(米沢中央ロータリークラブ、平山会長はじめ多くの会員のみなさまようこそ白河へ!今年度もよろしくお願いたします。)
- 宮本多可夫会員(米沢中央ロータリークラブの皆さんようこそ。暑い夏です。身体に気を付けて乗り切りましょう。)
- 池田浩章会員(米沢中央RCの皆様来訪お疲れ様でした。又吉澤幹事卓話ありがとうございました。誕生祝いありがとうございます。)
- 成井正之会員(米沢中央クラブの皆様、ようこそ。誕生日のお祝いありがとうございます。もう少しで古稀になってしまいます。うれしいやら悲しいやら。大谷スマイルは38号39号でした。)
- 堀田一彦会員(米沢中央RCの皆様ようこそ。交流コンベ楽しみにしています。)
- 富永章会員(米沢中央ロータリークラブの皆様ようこそ白河西ロータリークラブへ。)
- 関谷亮一会員(米沢中央RCの皆さんようこそおいでくださいました。米沢市も暑いですか?共に暑さを乗り切りましょう。明日お邪魔いたしますのでよろしくお願いたします。)
- 永野文雄会員(米沢中央クラブの皆様、多勢でようこそおいでくださいました。白河西クラブの例会を楽しんでください。)
- 鈴木孝幸会員(米沢中央ロータリークラブの皆様、ようこそおいでくださいましてありがとうございます。)
- 運天直人会員(米沢中央RCの皆様ようこそ白河西クラブへ。明日は職業奉仕のため出席できませんが、白河西を楽しんでいってください。)
- 鈴木浩一郎会員(お誕生日のワインありがとうございました。月に一回くらいは出席して無理なく続けていきます。)
- 吉田充会員(米沢中央RCの皆さんようこそ!!また、いつか野球の試合ができるといいですね!!)
- 佐藤清作会員(米沢中央ロータリークラブの皆様、猛暑の例会白河西クラブへようこそ。)

▶第1769回例会出席状況 (R5年8月3日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	67名
Ⓒ ①の出席者数	29名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	64
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	62.5%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30~19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



こんにちは。米沢中央ロータリーの平山会長をはじめ14名の皆様、ようこそお越しいただきました。ありがとうございます。後程、会長のほうからご挨拶、並びに吉澤幹事のほうから卓話をいただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。白河西ロータリーのメンバーも結構新しい方が多くて、歴史をあまり知らないものですから、米沢中央ロータリーさん方は皆さん既にもうご承知の事かと思いますが、32年程前にこの米沢中央ロータリーさんと白河西が姉妹締結を結ばれたということです。その当時いた方は、白河西でももう半分以下になっているかなとは思いますが、当時、米沢中央ロータリーさん皆さん知ってるでしょうけども、白河西の方ちょっと聞いてください。昔、山形と福島県は253地区という同じ地区だったそうでございます。それが今から30数年前に福島県と山形県が分かれるということで、福島県が2530地区、山形が2800地区に分かれるということで、持ち上がったのがこの姉妹締結を結ぼうと、お互いの更なる友情を持続させようということで。両クラブとも初めての姉妹締結。米沢さんにおかれましては、姉妹締結は白河西だけ。あとは友好姉妹クラブもあるでしょうが。白河はその後、沖縄コザ、並びに深谷ノースさんと3つの姉妹締結を結んでいます。今日14名来ていただいて、早速ですが明日、白河西ロータリーが米沢さんにお邪魔しまして12名程お伺いしますので、よろしくお願いしたいと思います。また、白河西と米沢中央さんの歴史はほぼ同じような、一年違いでしょうけども、米沢中央さんは今日斎藤パストガバナーいらっしゃるんですけども2名のガバナーを出してるんですね。ところが、白河西は今まで1名も出してないということで、予告ではございますが3年後に出す予定でございますので、よろしくお願いしたいと思います。今、首を下げました金田昇会員が今、予定者ということで、この地区関係の内々の了承をいただいとることでございますのでご報告申し上げます。さて、この白河西の話になりますが、先々週が納涼例会、先週がガバナー公式訪問、本日が米沢中央ロータリーさんの来訪という形で結構忙しい時間が続いておりますけども、皆さん体調にはくれぐれも気をつけて。また今、災害級の暑さ。また、沖縄のほうでは台風、並びに水害等出ておりますけども、東北にはそれほど来てないのかなと思いますが、皆さんこれ何かあるかわかりませんので、今後十分気を付けていただければと思います。また、最後のお知らせになりますが、CKB野球大会「こみっと」にも載さ

せていただきましたが、8月26日～27日、第10回チャレンジ県南ベースボールの中学校野球大会が行われますので、西ロータリーのメンバーの皆様、是非応援観戦のほうよろしくお願ひしたいと思います。簡単ではございますけども、会長挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○永野文雄会員

今のを補足しますと、白河西と米沢さんの姉妹クラブは、白河が5代目藤田弥五兵衛会長の時でした。今、言ったように地区が別れるということで。その時の仲人さんは九里茂三さんで数年前に亡くなりましたが、白河西ができた時の特別代表でした。補足でございます。

来訪者のご紹介

○米沢中央ロータリークラブ

平山順一会長



皆さん、こんにちは。今年度、米沢中央ロータリークラブ会長を仰せつかっております平山順一と申します。本日は白河西ロータリークラブ様のほうに14名という形でお伺いさせていただきました。誠にありがとうございます。白河西ロータリークラブ様とは先程ございましたけれども、藤田会長、あと米沢中央ロータリークラブの場合は猪俣会長の時に、7月に締結を結んだというのが最初だったと思います。それから32年、今年で33年目という年を迎えてると思うんですけども。その中で、今までやっぱりコロナということもありまして、ここ3年程なかなか活動が思い通りに行かなかったというのがありますが、昨年度宮嶋会長の時に、ゴルフ大会、並びにその後の交流会ということで、大いに楽しい時間を過ごさせていただきました。今年5月にコロナのほうも2類から5類のほうに変わりまして、いろいろと交流を更に深められるような環境が整ってきたのではないのかなと感じております。これから、佐藤会長とも相談していきながらになりますけれども、今年度は今まで以上にお互いの交流を深めながら楽しい交流会を出来たらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度、わたくし米沢中央ロータリークラブのクラブテーマのほう「connect～未来へ繋ぐ架け橋～」というふうなクラブテーマになっております。この「connect」というのは繋げるという意味がございます。クラブのそういう良い形の雰囲気であったり、昔からの考え方、やり方、心持ち、そしてこういう交流の中で得られる絆、縁というものを未来にずっと繋げていけるような楽しい形の例会、交流会をしていただければと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。いろんなことを今日勉強させていただいて、一日しっかりと楽しい時頑張っ

てまいりますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひいたします。明日は、米沢中央ロータリークラブのほうに12名の方でということに来ていただけるというようなお話をいただいております。明日は金田様のほうから、卓話をいただくということで、先程内々ではございますがガバナーのほうも決定されたと、誠におめでとうございます。いろいろと楽しいお話を期待しておりますので、気軽にお話いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。それでは、今日一日短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



会員の紹介をさせていただきたいと思ひます。まずは、齋藤栄助パストガバナーでございます。そのお隣が、宮嶋直前会長です。次、隣のテーブルで遠藤優子さんです。隣が遠藤啓子さんです。その後ろのテーブル、木村芳浩さんです。お隣のテーブル、赤間さんです。その前が、佐藤清一さんです。お隣、船山隆さんです。そのお隣が、佐藤順仁さんです。隣が、安部紀夫さんです。あと、古畑さんです。あと、直前幹事の石井さんです。そして、一番向こうで立っているのが本年度の幹事をしております吉澤幹事です。以上でございますので、本日は短い時間ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

■幹事報告 村上堅二幹事

- 日本事務局 業務推進室：会員増強・新クラブ結成推進月間 リソースのご案内
- 国際ロータリー：ロータリークラブ・セントラルではなくロータリーショーケースで奉仕活動の情報をご入力ください

- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：白河ユネスコ活動研究会秋田大会参加者募集について
- 日本事務局財団室：財団室NEWS2023年8月号
- ロータリー日本財団：確定申告寄付金領収証についてのお願い
- 右近ガバナー事務所：2023-24年度クラブ活性化ワークショップ出席者名簿のお願い
- 福島県特別支援教育振興会県南支部長 小河原健一：令和5年度福島県特別支援教育振興会県南支部会費納入について（依頼）
- ロータリー財団委員会財団資金管理委員会委員長 鈴木清友：地区補助金受取人情報書式提出について

■委員会報告

- 雑誌広報委員会 松永紀男委員長



皆さん、こんにちは。お手元の「ロータリーの友」ご覧になっていただいて、見どころとして縦組みの4ページ。こちらの記事なんですけど、昨年の2530地区の県北の第一分区でのインターシティミーティングの時、卓話を

いただいた方の内容が載っております。会津の「くつろぎ宿」の深田さんという方で、ご存じの方も多と思うんですけども、いろいろと震災の絡まり後にて、東山温泉の廃墟なんかを再生したりだとか、地域に帰する形で落としどころを見つけて運営していくというようなお仕事と申しますか、なかば社会企業的な位置づけで取り組みをされてる方の講演の内容が記録されております。内容を読んでいただければわかると思うんですけども、志しと収益のバランスが大事だということが書いてあって、例えばボランティアのほうだけに頼ると屋台骨が揺らぐだとか、またその逆というような事もあるのかもしれないから。その辺の事が詳しく書いてあって、聞くというか傾聴に値するような内容なのかなと思っております。先日、私会津に行く機会がありましたのでこの「くつろぎ宿」のほうにちょっとお伺いして、深田さんとお会いしてきました。ちらっとお話ただけでも、いろいろと面白い話を聞ける方なので、是非お泊りいただければと思っております。あと、前回もちょっと申し上げたんですけども、「ロータリーの友」の電子版のIDがこの7月15日から変わっております。それで、変わったIDとパスワードを短冊にしてレターケースの中に入れておりますので、手元に置いていただければ何かの機会に読んでいただければ持つとく必要はないかなと思っております。それとプラスして、雑誌広報委員として、いわゆるロータリーの公共性の告知ということで、今回皆さんご存じの地域情報誌のほうに活動報告と、それから今後の活動予定を告知させていただきました。これ白河西郡全戸配

布の冊子になっておりますので、どのような形にせよロータリーの活動を、我々の活動を地域やそういう所に知っていただくための努力を継続してしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【ロータリーの友 電子版】

ID 2530-01706

パスワード 01706-231

○親睦活動委員会

吉成真五郎委員長

【誕生日】

仁平喜代治会員、池田浩章会員、成井正之会員、鈴木典雄会員、鈴木信教会員、島田修一会員、鈴木浩一郎会員



■本日のプログラム

ゲスト卓話

○米沢中央ロータリークラブ幹事・会長ノミニ

吉澤彰浩様



皆さん、こんにちは。本年度、米沢中央の幹事を仰せつかっております吉澤と申します。うちの渉外友好委員長の赤間委員長に、お前喋れということで命令をされたんですけども。今、わたくし2800地区の職業奉仕の委員長を仰せつかっておりまして、4月から二期目に入ったところなんですけれども、そんなところから今日話するというようなところだと思うんですけども。昨年はうちのクラブの素人噺の落語家の石井宏幸メンバーが噺をさせていただいたと思うんですけども、今日はわたくしの話は笑うところは一切ございませんので、そこをご了承いただければなというふうに思います。大変やりにくいなというふうところですが、しばしお付き合いをいただければなというふうに思います。なんで今、地区の委員長やってるかという、うちのクラブから齋藤栄助パストガバナーがガバナー輩出するという、わたくし入会浅かったんですがお前かばん持ちやれということで一緒にくっついて行きま

したら、去年のガバナー佐藤孝子、鶴岡ロータリークラブの方なんですが、ガバナーの時になんか目に留まったらしくて、あんたは私のとこで委員長やりなさいよということで、何ですかと聞いたら職業奉仕。なんにもわかんないんですけども、もう一から勉強すりゃいいんだと言われて、ロータリーは「はい」か「YES」しかないというふうに教わったもんですから、こういう時くらいは断ることを覚えたほうがいいかなと、ちょっと思ったりしたんですけど。そういうことで、今年7月1日からは山形北ロータリーの伊藤三之ガバナーのもとで委員長をやっているところ。委員長の上には、アドバイザーってカウンセラーがいらっしゃるんですが、こちらの2530地区のほうでもよくお話されてると思いますが、寒河江ロータリークラブの鈴木一作パストガバナーがカウンセラーでご指導いただいているところです。職業奉仕語れといっても、非常に難しい話で多分話していると睡魔が襲ってくると思いますので、もうちょっと柔らかく話したいなと思っております。職業奉仕って単年度で生まれたり完結するものではなくて、ロータリーの連綿と続いた歴史そのものだったりしますので、その辺も踏まえて今日は4つのタムで最後まで行けるかどうかわかりませんがお話をしたいと思います。一つが、ロータリーの歴史をちょっと簡単におさらいと、二つ目が職業奉仕の森という話。三つ目が職業奉仕の実践。四つ目、まとめというふうにしていきたいと思います。その前に、これだけ話せば今日はいいかなと思ったんですけど、ロータリーに入って良かったなということがあって、この本皆さんご存じでしょうか。高崎ロータリークラブのパストガバナーで田中久夫さんっていらっしゃるって、2013-14のガバナーでいらっしゃると思うんですけど、その方が書いた本で、わたくしの尊敬する栄助パストガバナーが2800地区内に広めてくださったんですけど、この本に出会えたことと、その方が今年に入って2回地区内で直接お話をする機会を作っていて、大変感動してサインまで貰っちゃったという、これが記念になりましたけど。この本に出会えてその方に出会えたのが、今年もロータリーに入って良かったなというのがありました。なんで良かったかなというのが、多分僕入会してまだ8年目のまだ浅いメンバーなんですけれども。なんでロータリーに入ってるのかなというのが、うちの父もロータリアンだったんですけど、なんとなくこういういろんな圧力ですとか、仕方なくとか、そんな感じで入ってる人が多かったんですが、この本を読んだりしたことによって、ロータリーはこの田中久夫さんは、何かと聞いた時に人生の目的を知ることができると言い切っておりまして、いわゆる人生の意義というんですかね。非常に鳥肌が立ちまして、じゃあ俺の今までの人生って何だったんだべって思ったんですけど。このロータリアンとしてこれが

らこういう生き方しなきゃいけないんだっていうような意味で、この本と出会えたというのは非常に良かったので、皆さん是非読んでいただければなというふうに思います。齋藤栄助に成り代わりまして、宣伝したいと思います。自己紹介、「吉亭」という料理屋やっておりますので、是非米沢に来た際はちょっとお立ち寄りをいただければと思います。現在、今度56歳になります。様々な社会活動を経て、今現在はロータリーが一番主たる社会活動かなというふうに思っています。では、早速本題に入りますが、ロータリーの歴史なんですけど、端折りながらこういきたいと思いますが、違うよっていうところがあればちょっと勉強不足ですのでご容赦いただきたいなと思います。はじめに、ロータリーはご存じ1905年にポール・ハリスさんという青年弁護士さんが作られました。3人の仲間で作ったということなんですけども、これ白河西ロータリークラブさんのホームページも最初の扉にそれ書いてますね。3人の仲間と起ち上げたということで。ちゃんと調べてきたんです、白河西さんの。シルベスター・シールって石炭商と、ガスターバス・ローア、鉦山技師。ハイラム・ショーレー、仕立て屋さんで作ったんですけど、最初なんで作ったかという友達欲しかったということで、当時のシカゴって皆さん多分ご存じだと思いますが、非常に荒れてたんですね。商道徳が欠如して、いわゆる本当に気の置けない仲間と親睦と、あと互恵関係の取引をしたくてロータリーを作ったというのがスタートでした。ロータリー同士の親睦や信頼の上に立って、互いを裏切らない取引をしようということで始めたというのがシカゴクラブの始まりです。当時ですね、なんと互恵取引というのは原価取引だったそうですね。原価取引やって一般のお客さんに取引するもんですから大層儲かったというような話なんですけども、これが変わったのが次の年に入った、聞いたことありますけど、「ロータリーの友」にも漫画ありましたがドナルド・カーターという方が入って、奉仕の理念が入ってきたというのがいわゆる奉仕の理念というところのスタートになってます。実は余談ですけど、ドナルド・カーターって最初入会を拒否したという事件があったそうです。なんでかという、自分だけの親睦とか利益を考える団体というのは意味ないんじゃないということで笑い飛ばして、ドナルド・カーターを入れるために定款に親睦と互恵取引と、三つ目に奉仕というのを入れてカーターを入会させたというのがその最初のスタートですね。ネットで調べると、そのシカゴクラブが最初に社会奉仕って何をしたかというのはトイレを作ったんだそうです、集めたお金で。これがいわゆるロータリーの奉仕のスタートというふうに聞いております。この100年以上も前から、いわゆる仲間うちの親睦と外向きの活動ということで、仲間の間に対立したりしたということも、その頃から始

めていたというのが非常に面白いなと、深いなというふうに思います。この後、いよいよ職業奉仕の理念が登場いたします。1908年に入会した、名前聞いたことあると思います。シェルドンです。アーサー・フレデリック・シェルドンが経営学としての職業奉仕の理念というのをロータリーに持ち込みました。皆さんご存じだと思いますが、今、第一標語、思想として「超我の奉仕」というのがありますし、第二標語として行動を表す「最も多く奉仕す者最も多く報いられる」という行動を表すというの、ここから来てるんですけれども。どういう事かという、職業を通じて社会に奉仕をしたから我々は報酬を得ている。職業を通じて社会貢献が実は継続的な自分の事業の発展になるんだという考えをシェルドンがロータリーに持ち込んだというふうに言われてます。その後、1923年の時にですね、決議23、34ということで、この二つの奉仕の理念、思想と行動を表すものがロータリーの哲学として確立させたというのが、非常にロータリーの中ではトピックスというか非常に節目の年が1923年というふうになってます。その後、うちの齋藤パストがガバナーの時に、地区内メンバーに伝えてた四つのテストということがありますけども、ハーバート・テラーが自分の会社でやってたものをロータリーの中に持ち込んで、行動指針になってくるんですが、その後1943年のR Iの理事会で公式のプログラムとして採択されて今に至ります。過去のR Iのほうでは戦略計画というものもありますが、その中に5つの中核的価値があって。奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという、その中核的な価値観に基づいてロータリアンは行動しましょうというふうになってます。二番目の職業奉仕と森というような話をしたいと思いますが、職業奉仕って多分非常に難しく感じる方が多いんだと思いますが、三つあるというふうに2800地区内では分析をしております。一つはですね、いわゆる造語問題。職業奉仕というものの自体が、いわゆるロータリー特有の造語であるというところで、二番目があまり正確にそれを理解していないという問題。三番目が、絶対的かつ画一的な価値観に収めようという問題があるということです。造語問題って何かというと、これは職業というものを表す時に3つの英語があって、職業奉仕というのはR Iではゴケーションナルサービスって言うんですけども、ゴケーションナルというのはどういう仕事をさすかということ、天から与えられた仕事、天職と。天職の奉仕。これが日本では職業奉仕というふうに訳されてしまっ、非常にどういう意味なのっていうふうになってます。職業、他にプロフェッションという専門性の仕事と、もう一つはオキュペーションというですね、単なる飯を食うための仕事、三つありますけど、ロータリーにおける職業奉仕というのは、天から与えられた仕事を通じて社会に役立つ事ということを職業奉仕

というふうに定めております。二番目の正確に理解していない問題というものにつきましては、職業奉仕というのは標準クラブ定款6条の2項に150文字で書かれてるものです。時間がないので読みませんが、後でホームページでも見て標準クラブ定款読んでください。ここから外れてしまうとずれていっちゃうので、それ以上でもそれ以下でもない。その一文で非常にわかりやすいのは自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるためにという部分が非常にわかりやすいところかなというふうに思います。三番目の、絶対的な価値観問題。これが職業奉仕の森に繋がってんですけども。職業奉仕という、こうあるべきだという一本の大木のように語られてしまうことが非常に問題だと。あれも職業奉仕だし、これも職業奉仕だし、それも職業奉仕だということで、いろんな樹木で形成されている森を職業奉仕というふうに、うちの地区の一作先生が解説をしておりました。これがどういうものかということ、大きく分けると例えば、職業倫理とか天職とか奉仕の理想とか、職業人としての在り方。それをどれ一つとっても職業奉仕なんだということで、いわゆる職業倫理というものについては、最近自動車屋さんがいろいろ問題起こしましたけど、そういうものをコンプライアンスとしてしっかりやっていきたいと思いますし、自分のスキルを通じて世の中に役に立つということをして、これはシェルドンの言う職業奉仕であるということだし、あと奉仕というものはさっき第二標語でありました施すことによって自分が最終的には得するんだよというような人間関係の基本。これもシェルドンが唱えていることですし、どれをとっても職業奉仕だということだというふうになると思います。最後になりますけれども、じゃあ実際職業奉仕はどこから学んで実践をどうしたらいいのでしょうかというまとめに入りたいと思いますけれども。本年、地区のわたくしの基本方針、昨年と同じなんですけども。「シンクグローバルアクトローカル」という言葉を掲げておまして、英語で話すともっとわかりにくくなっちゃいますが、日本語になおすと構想は大きく実践は身近なところからということをやっていききたいというふうに思ひまして、地区研修協議会の時にフォーラムを、各クラブから職業奉仕の担当者を集めてディスカッションをして発表するというフォーラム形式をとった時に、個人と企業とクラブでどういう事をすれば職業奉仕の実践になるのかというフォーラムを開きまして、懸案としていろんな例が出てきました。それを実際うちのクラブでもう実践してるんですけども、会員卓話ですね。メンバー皆職業人ですので、自分のこの仕事を通じてこういうふうに社会に役に立っているんだよという事を話す行為。あと、聞くこと自体がいわゆる職業奉仕の実践ではないかという事を地区研修協議会で

一応提案として挙げました。あと、職場訪問なんかも同じです。見に行くことによって、この会社はどういう事を通じて社会に貢献してるんだろうというのを見て学ぶということも職業奉仕の実践ではないかなと思います。わたくし個人的にはこの前、5月に今度統合する高校があって、その1年生200人向けに市の観光振興委員長やってるので、その立場で米沢の魅力とはという話をしてくれというというふうに頼まれたんですけど、その中にはそれ青少年奉仕なのってこう言われるかもしれないんですけども、自分の仕事を通じて青少年に奉仕しているので、これもやっぱり職業奉仕であるというふうに思ったところがございます。ここからは最後はわたくしの私見ではあるんですけども、いわゆる職業奉仕とは何かというふうにこう一言で言ったら何と答えるかということ、いわゆる職業を通じてどのような社会貢献をしているかという事を自分が気付きを得る活動自体が職業奉仕の実践ではないかなというふうに思っております。これはロータリアンとしての学びとか成長に繋がると思うんですけども、わたくしの事を指導している鈴木一作パストガバナーはロータリーは4つの循環が大切なんですよと。親睦、学び、成長、奉仕。これをきちんとやっていくことが非常に大事だというふうに言っております。その際は、テラーの4つのテストに照らし合わせていくというのも非常に大事な職業奉仕の実践になっていくのではないかなと思います。最後に非常に大事な事を、ロータリーを通じて感じたことがあるんですけども。うちのクラブには、大友パスト、齋藤パスト、非常に尊敬する先輩がいらっしゃるんですけども、先輩に聞いた時に、ロータリー続けてるとわたくしもそうなんですけれども、面倒くさいなですとか、仕事にも影響あるしなとか、辞めたいなとか思う時も時々出てくるんですけども、その中で大事な事というのは忍耐とか寛容の精神だろうなというふうに思います。その時に、やっぱり仲間がいるという事が非常にロータリーとしての素晴らしい事だと思いますので、一人で悩むのではなくて多分自分の事を受け入れてくれる仲間がクラブにいて、また会いたいなというふうに思うことが、これが実はクラブ奉仕にもちょっと繋がっていくことかなというふうにこう思いますので、それが非常に大事な事だなと思います。ポール・ハリスも最後のほうは、クラブの活動出てこなくなった。なんと、シェルドンは退会をしてしまった。どっちなじゃ駄目だという事を気付かしまして、寛容な精神でこれからもクラブの活動をやっていきたいと思ひます。ご清聴ありがとうございました。